

# 数学 (Ⅲ) 九州大学 経済 (経済工)、理、工、農、医 (保健-看護を除く全学科) 歯、薬、芸術工

## <全体分析>

試験時間 150 分

解答問題数

5 題

### 解答形式

全問記述式

### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

### 出題の特徴

小問のない問題は 1 題だけであった (2018,2019 年度は 3 題)。

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

特になし。

## <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]	微分法	数学Ⅲ	x 軸上の点から接線が引ける条件。定数分離による解の存在条件。	標準
[2]	複素数と方程式 整数	数学Ⅱ、A	整数係数の 4 次方程式が虚数解をもつ条件と整数の剰余に関する条件。	やや難
[3]	空間図形	数学 B	等面四面体の外接球の半径。	やや難
[4]	確率	数学 A	4 個のサイコロの出る目すべての積についての確率を求める。	標準
[5]	積分法	数学Ⅲ	円柱を平面で切ってできる立体の体積とその回転体の体積。	標準

※難易度は 5 段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

標準的な問題を中心にしっかりと演習を積み重ね、ややレベルの高い発展問題にもチャレンジし、論証問題や融合問題、さらには小問のない問題などいろいろな出題に対応できる力を養っておきたい。